

令和5年10月5日

山梨県知事政策局リニア未来創造・推進グループ

リニア未来創造・推進監 鎌田 秀一

電話番号 055-223-1664(内線 1304)

報道関係者各位

第4期 TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業 【テラスマイル株式会社】 甲府地区の「ぶどう」栽培指針となる圃場カルテ 「RightARM 果樹版（ぶどう）」を作成

山梨県（知事：長崎幸太郎）が実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「第4期TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、採択された7事業者のうちの1つである「テラスマイル株式会社」は、「ぶどう」生産で得られるデータを、同社開発の「RightARM」に取り込み、「勘」に頼っていた生産のコツとなるポイントを「データ」として可視化しました。

なお、本実証実験の内容については、10月11日（水）16:00から開催する本事業の成果発表会にて説明します。

1 事業者

事業者名：テラスマイル株式会社

(<https://terracemile.jp>)

本社：宮崎県宮崎市

代表：代表取締役 生駒 祐一

概要：農業特化の経営管理クラウド「RightARM（ライトアーム）」を開発・提供するアグリテックスタートアップ



2 実証実験の内容・成果

生産者2名（ベテラン生産者と専業で就農されて5年以内の生産者）の協力のもと、

- ・甲府地区の「ぶどう」栽培における指針となる、圃場カルテ「RightARM 果樹版（ぶどう）」を作成
- ・ワークショップ形式で「ぶどう」の生産のコツとなるポイントを整理し、生産者の所得をシュミレーションする「経営シュミレーションシート」を作成

※詳細は別添テラスマイル株式会社のリリース資料をご参照ください。

■「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」の最新情報は、やまなし未来創造インフォメーションサイトをご確認ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/support.html

未来創造インフォ

Click



【報道関係者からのお問い合わせ先】

山梨県 知事政策局 リニア未来創造・推進グループ 担当：齊藤

電話：055-223-1363（内線 1324） メール：saitou-zfm@pref.yamanashi.lg.jp

テラスマイル株式会社 担当：三枝

電話：03-4360-5665（代表） メール：ge.saegusa@terasuma.jp

2023年10月

関係各位

テラスマイル株式会社

ぶどう生産のノウハウを、地域の共有財産にするために

～勘と経験のデジタル化により農業経営の力へ～

稼げる農業の形式知化にデジタル技術を駆使して貢献する、農業特化の経営管理クラウド「RightARM(ライトアーム)」を開発・提供するアグリテックスタートアップ・テラスマイル株式会社(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役:生駒祐一、以下テラスマイル)は、果樹におけるデータ駆動型農業確立のため、山梨県甲府市内で「ぶどう」における実証を実施いたしました。



【取り組みの背景と目標】

山梨県は「フルーツ王国やまなし」とも言われるように、果物の生産が盛んな県です。特に「ぶどう」「もも」「すもも」は日本一の生産量を誇っています。首都圏からのアクセスも良く、市場に「製品」としての出荷を行うだけでなく、収穫体験などの提供で収入を得る「観光農園」などの経営形態も盛んです。

しかしながら、山梨県でも、農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題が存在するのも事実です。特に、「果樹」の生産は、「量」だけでなく「質」を高めることも、非常に大切なポイントとなります。品目独自の特別な処理も存在し、技術の伝承のハードルが高くなります。

今回、テラスマイルでは、「RightARM」を用いて、「ぶどう生産におけるポイント」をデータ化し、甲府地区のぶどう生産の技術の伝承をより簡易に行うことを目標に、実証を行いました。最終的には、「新規就農者」や「稼げていない農家」が、「稼いでいる農家」の作業を、根拠を持って模倣することで、地域全体のレベルが向上することや、ぶどう生産を開始するにあたってのハードルが下がり、生産者の後継者不足を解決することが目標です。ひい

では、「フルーツ王国やまなし」がこの先も続くこと、その一端を担えたら幸いです。

また、今回は山梨県というフィールドで果樹版 RightARM の開発を実証として取り組んでまいりましたが、テラスマイルは施設園芸から始まり、露地野菜、茶と 29 品目の実証・実装経験を持っています。果樹にとらわれず、山梨県の農業全体を盛り上げることに寄与していくことを目指してまいりたいと思います。

【実証の内容】

生産者 2 名（ベテラン生産者と専業で就農されて 5 年以内の生産者）の協力のもと、「ぶどう」生産で得られるデータを取得。取得したデータを、弊社開発の「RightARM」に取り込み、生産者と共有しつつ、ワークショップ形式で、「ぶどう」の生産のコツとなるポイントを「勘」から「データ」として見える化を実施。甲府地区の「ぶどう」栽培における一つの指針となりうる、圃場カルテを作成しました。（RightARM 果樹版（ぶどう）の作成）

ワークショップや業界関係者へのヒアリングを通じ、新規就農の課題として、「技術が伝えづらい事」の他に、「所得の見通しが立てづらい」ことが挙げられた為、本実証で得られたデータと、県の経営指標を基に、生産者の所得をシミュレーションする「経営シミュレーションシート」を作成しました。

最終ワークショップにて、圃場カルテや経営シミュレーションシートを、生産者をはじめとする本実証に協力いただいた方々から、現場での実装可能性の視点でフィードバックをいただき、改良しました。

今後はシステムのさらなる有効性、実装可能性を高めることを目指し、山梨県内の営農指導員や普及指導員の方々の知見もいただきながらより良いプロダクトの開発に努めてまいりたいと思います。

➤ 農業経営管理クラウド「RightARM（ライトアーム）」の提供価値

近年、国内外で市場拡大しているスマート農業技術は、大規模農業者向けのソリューションが主流です。国内市場の大多数であり、産地を形成する意欲的な若手農業者や新規就農者は、技術の導入にあたってのコストが障壁となる上に、ツールの使用に際しては複雑で手間がかかることが普及拡大の課題となっています。

農家の右腕として稼げる指標を提供する「RightARM（ライトアーム）」は、農業情報学会賞を受賞するなど、そのデータ蓄積・整形技術の機能性と利便性が証明されています。この技術を活用することで、農業者は農業経営に関わるあらゆる情報を自動的に収集・整理することができ、またデータに基づく農業経営と稼げる指標を得ることができます。

また、農業者だけでなく農業産地の発展に重要な役割を果たす行政の普及指導員や JA の営農指導員、他の農業者とデータを共有することが可能な「RightARM for EX」（2022 年リ

リース) は、デジタル・トランスフォーメーションの波に乗りながら、すでに全国 20 都道府県、29 産地で導入されています。海外ではすでに当たり前になっている、農業でのデータ活用を国内に定着させる取組を、他社に先行して推し進めてまいりました。

➤ テラスマイルについて

2014 年の創業以来、農業分野におけるデータ分析を行うスタートアップです。『すべての営農者を豊かにし、国家を守ることを創造する』をミッションに、2017 年には農業データ情報基盤「RightARM (ライトアーム)」を開発しました。また、2022 年からは農業特性が日本と類似するインドネシアでの実証にも取り組み、国内産地を皮切りに、儲けることが出来る次世代若手農業者と産地の創造にグローバル規模で挑戦しています。

【会社概要】

社名：テラスマイル株式会社

本社所在地：宮崎県宮崎市

代表取締役：生駒 祐一

事業内容：

- ・ RightARM を活用した都道府県・JA のデジタル化
- ・蓄積したデータを活用したいと考える農業経営者が、グッとくるデータ駆動型システムの構築・導入
- ・データ活用・データ駆動型農業にむけた研修・講座の実施

設立：2014 年 4 月

URL：<https://terracemile.jp>